

USB 2.0 / IEEE1394 PORTABLE MO UNIT

LMO-PBFU2シリーズ

MOユニット

ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	5
ごあいさつ	6
ご注意	6
共通編	7
共通編 1：製品の特徴	7
共通編 2：各部の名称と機能	8
共通編 3：設置方向について	10
共通編 4：メディアに関して	12
共通編 5：インターフェースボードの接続	16
共通編 6：ハードウェア仕様	18
USB編	19
IEEE1394編	55

本書の使い方

本製品はUSBインターフェース、IEEE1394インターフェースのどちらにも接続することができます。そのため、本マニュアルはUSB編とIEEE1394編に分かれています。最初に共通編をお読みになった後は、USB、もしくはIEEE1394のうち、使用するインターフェースに対応した方をお読みください。

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

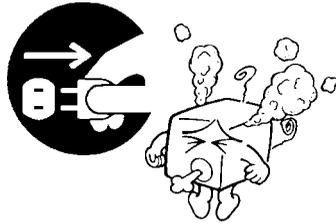


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

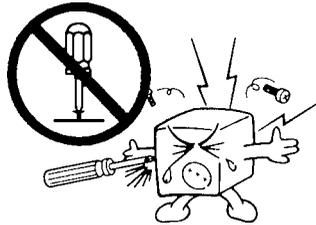
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

使用してください。

ACアダプタは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



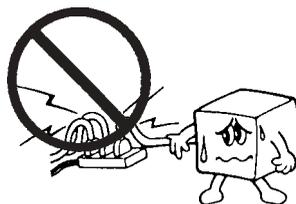
ACアダプタのコードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

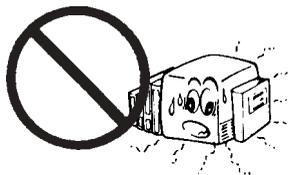
ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



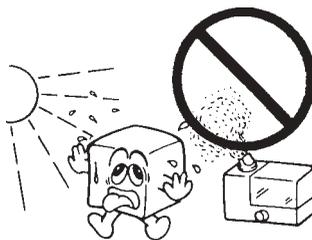
ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

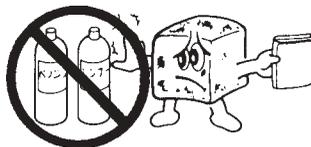


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいてください。





Windows 環境でご使用の方へ

当社 DOS/V 対応製品は、一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

付属品の確認

MO ユニット	1 台
AC アダプタ	1 個
USB ケーブル (USB 2.0 High-Speed 対応)	1 本
IEEE1394 ケーブル (6 ピン - 4 ピン)	1 本
IEEE1394 ケーブル (6 ピン - 6 ピン)	1 本
縦置き用スタンド (横置き用チルトスタンド兼用)	1 個
横置き用ゴム足	1 シート
「LogitechWare」CD-ROM	1 枚
イジェクトツール	1 個
保証書	1 枚
MO ユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密機器です。輸送時は必ず付属の梱包材をご使用ください。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。
Macintosh、Mac OS、FireWireは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。i.LINKはソニー株式会社
の商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がおお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

共通編

共通編 1 : 製品の特徴

本製品は USB 2.0 / IEEE1394 両対応のポータブル MO ユニットです。

本製品の特徴

共に高速で簡単接続を実現する IEEE1394 と USB 2.0 の 2 種類のインターフェースを装備しています。480Mbps の高速データ転送が可能な USB 2.0 の High-Speed に対応し、従来の USB 1.1 対応の USB ポートに接続することも可能です。もちろん、ホットプラグに対応します。

IEEE1394 接続時はバスパワーに対応しています。パソコンの IEEE1394 ポートより直接電源の供給を受けるので、AC アダプタを接続する必要がありません。

コンパクトなボディは携帯性に優れ持ち運びに最適です。

Windows / Macintosh のどちらの環境でも使用することができます。



ご注意

- ・本製品を USB インターフェース、IEEE1394 インターフェースの両方同時に接続することはできません。
 - ・本製品を USB インターフェースで使用する場合、バスパワーで使用することはできません。必ず付属の AC アダプタを接続してください。
 - ・本製品を IEEE1394 バスパワーで使用するときはパソコン側・本製品側共に 6 ピンの IEEE1394 コネクタ (ポート) に接続してください。どちらか一方のコネクタが 4 ピンタイプの場合、バスパワーではご使用になれません。
 - ・スリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードは未サポートとなっています。
-



参考

IEEE1394 はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

共通編 2 : 各部の名称と機能

本製品前面

イジェクトボタン (アクセス表示ランプ)

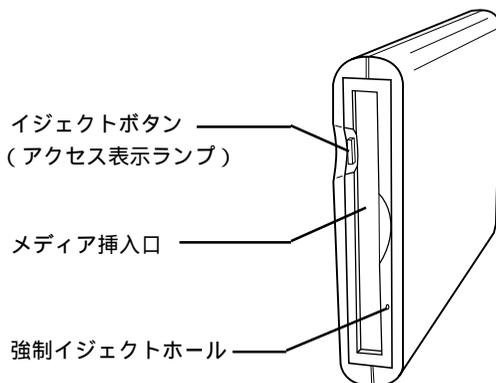
パソコン本体のOS が起動していないときに、MO メディアを取り出したい場合に使用します。また、このボタンはアクセス表示ランプとしての機能も持っています。本製品にセットされたMOメディアに対してアクセスが行われると、内部のランプが点灯します。

メディア挿入口

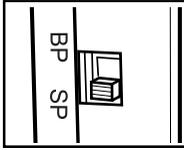
MOメディアをセットする部分です。

強制イジェクトホール

何かの原因でMOメディアが取り出せなくなったときに使用します。詳細については「共通編 4 : メディアに関して」をご参照ください。



本製品背面 電源切り替えスイッチ



バスパワーで電源の供給を受けるか、ACアダプタから電源の供給を受けるかを切り替えるスイッチです。このスイッチをBP側にスライドさせるとバスパワーでの、SP側にスライドさせるとACアダプタから（セルフパワー）の電源供給を受けます。

USB mini- B コネクタ

本製品をUSB接続する場合に、パソコン本体（USBポート）と接続します。

IEEE1394 コネクタ（4ピン）

IEEE1394 コネクタ（6ピン）

本製品をIEEE1394接続する場合に、パソコン本体（IEEE1394ポート）と接続します。4ピンタイプのコネクタで接続する場合は必ずACアダプタをご使用ください。

電源コネクタ

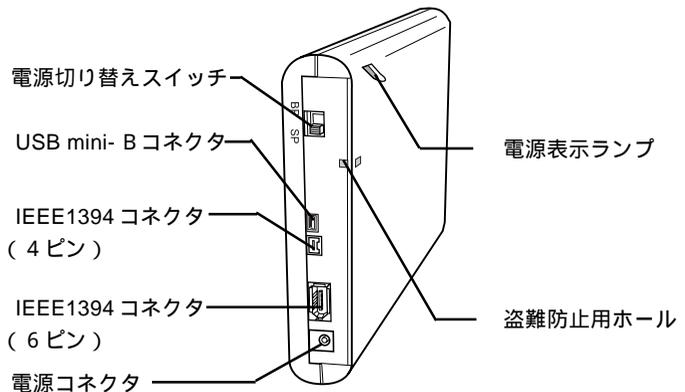
付属ACアダプタのプラグを接続します。ACアダプタはAC 100Vのコンセントに接続します。

電源表示ランプ（青色）

本製品の電源がONになると点灯します。

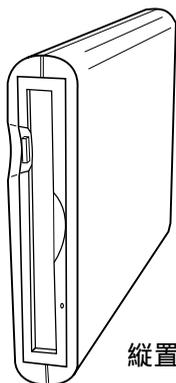
盗難防止用ホール

盗難防止用にワイヤ等をつけておくことができます。

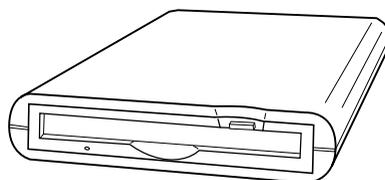


共通編 3 : 設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。

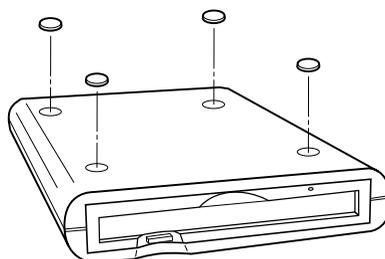
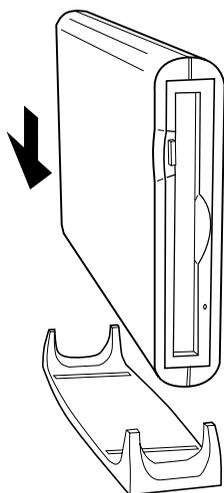


縦置きの場合



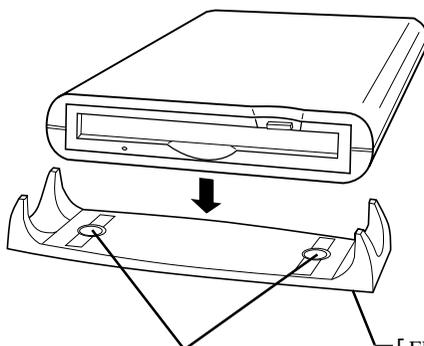
横置きの場合

縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。(下左図)
横置きの場合は、底面の4箇所が付属のゴム足を貼付してください。(下右図)



上図は底面を上にするため、設置方向と逆になっていますので、ご注意ください。

横置きの場合も、付属のスタンドを下図の方向で使用すると、傾斜がついてMOメディアがセットしやすくなります。



このくぼみにゴム足が納まるように乗せます。

「FRONT」と表示されている方が前に来るように設置してください。

共通編 4：メディアに関して

使用可能なメディアについて

本製品では、下表で のついたMOメディアを使用することができます。

機種名	LMO- PB1340FU2	LMO- PB636FU2
128MB	標準	
	OW	
230MB	標準	
	OW	
540MB	標準	
	OW	
640MB	標準	
	OW	
1.3GB	標準	×
	OW	
2.3GB	標準	×
	OW	

= 使用可能 × = 使用不可

= 使用可能ですが、書き込み速度は、通常のMOディスクと同等になります。

= このタイプは現在発売されていません。

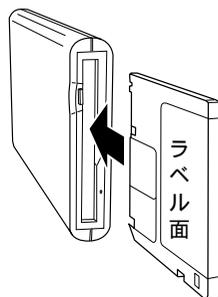


ご注意

- ・他のMOユニットとのデータ交換には、128MBのMOメディアは使用しないでください。（この用途は保証範囲外とさせていただきます。）
これは128MBのMOユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には、230MB以上のMOメディアをご使用ください。

メディアをセットするには

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。（間違った方向では挿入できません。）



ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

メディアを取り出すには

本製品にセットされた MO メディアを取り出す方法は、使用する OS (Windows Me、Windows 2000、Mac OS など) によって異なります。USB 編、IEEE1394 編で各 OS に関する部分をご参照ください。



ご注意

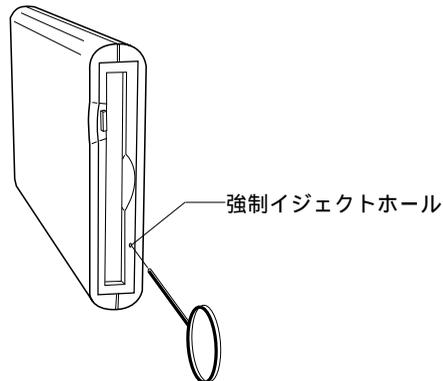
本製品前面のイジェクトボタンは OS が起動していないときに使用します。OS 稼動中は使用しないでください。

メディアが取り出せなくなった場合は

本製品にセットされた MO メディアが通常の手順で取り出せなくなった場合は、まず、以下の方法を試してください。

パソコン本体のシステムを終了して、本製品のみが電源 ON になっている状態で、イジェクトボタンを押してください。

それでも取り出せない場合は、本製品の電源を OFF にして、付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに差し込み、強く押してください。



メディアが 1 cm ほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品の電源が ON の状態では、強制イジェクトは行わないでください。

メディアのクリーニングについて

MO メディアは 1 ~ 3 ヶ月に 1 回程度、別売のメディアクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境 / 頻度によってクリーニングの時期は異なります。)クリーニングの方法については、クリーニングキットの取扱説明書をご参照ください。

本製品用のメディアクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番 : LMO-330-02

レンズ・ヘッドのクリーニングについて

空気中に浮遊するほこり、ちり、およびタバコの煙などが、本製品内部のレンズ・ヘッドに付着すると性能が低下することがあります。

本製品内部のレンズ・ヘッドは 3 ヶ月に 1 回程度、別売のレンズクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境 / 頻度によってクリーニングの時期は異なります。)クリーニングの方法については、クリーニングキットの使用方法をご参照ください。

本製品用のレンズ・ヘッドクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番 : LMO-640-02



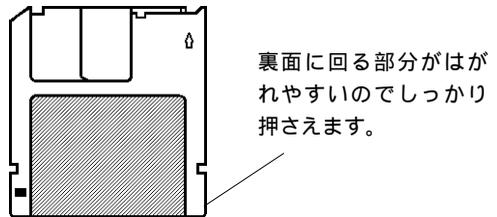
ご注意

- ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットを使用する場合は、AC アダプタを接続し電源を供給する必要があります。
 - ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットは必ず弊社販売の「LMO-640-02」をご使用ください。市販のものを無理に使用すると、機器を損傷する場合があります。
-

MO メディアのラベルについて

MO メディアにラベルを貼付する場合は、必ず指定の位置に 1 枚だけ貼ってください。また、貼った後ではがれないように MO メディアの両面をしっかりと押さえてください。(最近のラベルには再剥離可能なようにのりが弱いものもあります。そのようなラベルはできるだけ使用しないでください。)

不適切な位置に貼ったり、2 枚貼りすると MO ユニット内部でラベルがはがれて、MO メディアがイジェクトできなくなる恐れがあります。

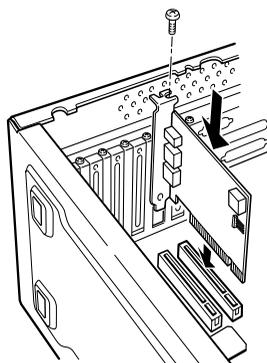


斜線の部分からはみ出さないように貼ります。

共通編 5：インターフェイスボードの接続

パソコン本体に IEEE 1394 ポートまたは、USB 2.0 ポートがない場合は別売りのインターフェイスボード（PCI バス用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。（本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。ただしその場合の最大転送速度は、USB 1.1 の Full-Speed (12Mbps) までとなります。



USB 2.0、IEEE 1394 のインターフェイスボード/カードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA- USB2V	PCI	インターフェイスボード単体 Windows XP, Me, 98, 2000対応
LHA- USB2NH	PCI	インターフェイスボード単体 Windows、Mac OS X 10.2.8以降対応

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM- CBUSB2HA	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

PCI バス用 IEEE1394 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA - 1394V	PCI	インターフェイスボード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000対応
LVC - MG 2L		ビデオ活用キット Windows Me, 98 SE, 2000対応

CardBus 対応 IEEE1394 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM - CB 1394L	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000 Mac OS 9.0 ~ 9.2.2 Mac OS X 10.1.3 以降対応

CardBus タイプの「LPM-CB1394L」を使用して本製品を接続する場合、バスパワーでの使用はできません。接続の際、付属の AC アダプタを取り付けておく必要があります。

Point

ポイント

これらオプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

共通編 6 : ハードウェア仕様

機種名	LMO - PB1340FU2	LMO - PB636FU2	
メディアタイプ	3.5型 MOメディア *1		
ディスクあたりの記憶容量	128MB / 230MB 540MB / 640MB / 1.3GB	128MB / 230MB 540MB / 640MB	
ディスク回転数	4031 rpm *2	3600 rpm	
インターフェース	IEEE1394- 1995 P1394a USB 2.0 High- Speed (従来のUSB 1.1 互換)		
コネクタ形状	IEEE1394 コネクタ : 6ピン × 1 IEEE1394 コネクタ : 4ピン × 1 USB Mini - B × 1		
最大データ転送速度 *3	400Mbps (IEEE1394 対応時) 480Mbps (USB High - Speed対応時) 12Mbps (USB Full - Speed 対応時)		
平均シークタイム	25ms		
キャッシュメモリ	2MB		
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 85 %
入力電圧	AC100V ± 10 % 50 / 60 Hz *5		
消費電力 (定格)	IEEE1394バスパワー接続時	7 W	
	ACアダプタ接続時	6 W	
外形寸法	幅 × 高さ × 奥行	23 × 115 × 192 mm *6	
質量	490 g *7		

*1 使用可能なメディアについては「共通編 4 : メディアに関して」をご参照ください。

*2 LMO-PB1340FU2 では、1.3GB メディア使用時は、3012rpm となります。

*3 理論値。

*4 ただし結露なきこと。

*5 AC アダプタ使用時。

*6 縦置き時、突起部 / スタンドを除く。

*7 本体のみ。

USB 編

目次

第1章	はじめに	21
1.1	USB 接続の概要	21
1.2	使用環境について	22
第2章	Windows Me, 98 の場合	23
2.1	接続とインストール (Windows Me)	23
2.2	接続とインストール (Windows 98)	27
2.3	ソフトウェアのインストール	31
2.4	フォーマットについて	32
2.5	メディア取り出しについて	33
2.6	本製品を取り外す場合は	34
第3章	Windows XP, 2000 の場合	36
3.1	接続とインストール	36
3.2	接続/インストール結果の確認	38
3.3	ソフトウェアのインストール	39
3.4	フォーマットについて	40
3.5	メディアの取り出しについて	41
3.6	本製品を取り外す場合は	42
第4章	Macintosh の場合	44
4.1	接続とインストール	44
4.1.1	ドライバのインストール	44
4.1.2	本製品の接続	47
4.2	MO メディアのフォーマット手順	48
4.3	補足事項	51
第5章	補足事項	52
5.1	トラブルシューティング	52

第1章 はじめに

1.1 USB 接続の概要

本製品を USB インターフェースに接続する場合、以下のような特徴があります。

高速データ転送が可能な USB 2.0 の High-Speed に対応しているためドライブの性能をフルに引き出すことができます。また、従来の USB 1.1 対応の USB ポートに接続することも可能ですので非常に幅広いパソコンに接続して使用することができます。

付属の USB ケーブルは、USB 2.0 の High-Speed に対応しています。USB 2.0 High-Speed 対応ケーブルは USB 1.1 接続にもご使用いただけます。

ホットプラグによる接続、取り外しが可能です。



重要なご注意

- ・ USB 接続時は本製品をバスパワーで使用することはできません。必ず付属の AC アダプタを接続してください。
- ・ 本製品に IEEE1394 ケーブル、USB ケーブルの両方を接続することは避けてください。(USB 接続時には IEEE1394 ケーブルを外してください。)
- ・ 本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 2.0 に対応していないケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・ USB 1.1 ポートへ接続して使用する際にもなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
- ・ 本製品はスリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードは未サポートとなっています。

1.2 使用環境について

1

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のよ
うな環境条件を満たしていなくてはなりません。

対応パソコンについて

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパ
ソコン本体に接続可能です。すべて USB ポートを搭載している機種に限
定されます。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン本
体のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	eMac iBook iMac Power Mac G5 Power Mac G4 Power Mac G4 Cube Power Macintosh G3 (Blue and White) PowerBook G4、PowerBook (FireWire) PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

対応 OS について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の
OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パ
ソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社	Windows XP Home Edition / Professional Windows Me Windows 98 (Second Edition 含む) Windows 2000 Professional
-------------	---

アップルコンピュータ社	Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 まで Mac OS X 10.0.4 以降
-------------	---

第2章

Windows® Me , 98 の場合

本章では、Windows Me , 98 環境での本製品の接続とインストールの手順をご説明いたします。ご使用のパソコンに USB 2.0 ポートがない場合には、接続先を USB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。接続手順、ドライバのインストール手順は同じです。

2 . 1 接続とインストール (Windows Me)

2

本製品を Windows Me 上で使用する場合、本製品を接続する前に以下の手順でドライバをインストールしなければなりません。



ご注意

Windows Me の場合、ドライバをインストールしていない状態で本製品を接続すると、パソコンがハングアップ状態（キーボードやマウスの操作をまったく受け付けない状態）になる危険性があります。必ず最初にドライバのインストールを行ってください。

本製品を接続していない状態で Windows のシステムを起動してください。起動が完了したら本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

Point

ポイント

ここで CD-ROM の自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャーが起動しますが、この手順ではセットアップランチャーを使用しませんので「閉じる」と書かれたボタンをクリックして、セットアップランチャーのウィンドウを閉じてください。

2.1 接続とインストール (Windows Me)

タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択してください。

以下のウィンドウが表示されますので、「名前」のテキストボックスに「Q:\DRIVERS\LGUSBBLK\WIN98\SETUSBMO.exe」と入力して、OK ボタンをクリックしてください。

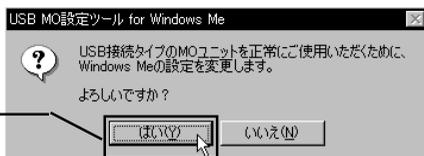


Point ポイント

ここで「Q:」はCD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

「USB MO 設定ツール for Windows Me」が起動します。

「はい」をクリック



必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると右のウィンドウが表示されます。

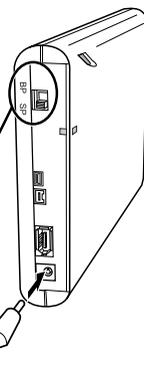
「OK」をクリック



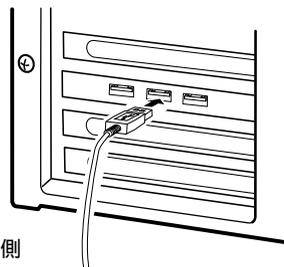
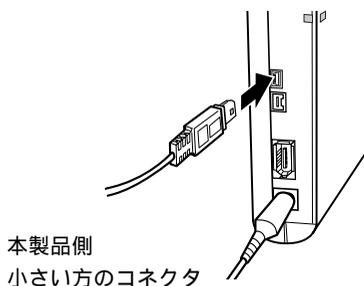
以上でインストールは終了です。CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。

続いて本製品の接続を行います。
本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続してください。
ACアダプタの接続ができれば、本製品の電源切り替えスイッチを下にスライドさせて電源を ON にします。

電源切り替えスイッチ
を SP 側に
AC100V のコンセントへ



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB mini-B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



重要なご注意

- ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 2.0 に対応していないケーブルで USB 2.0 ポートに接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際にもなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。



ご注意

本製品を USB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 拡張ポートへ接続してください。標準搭載されている USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed (12Mbps) となります。

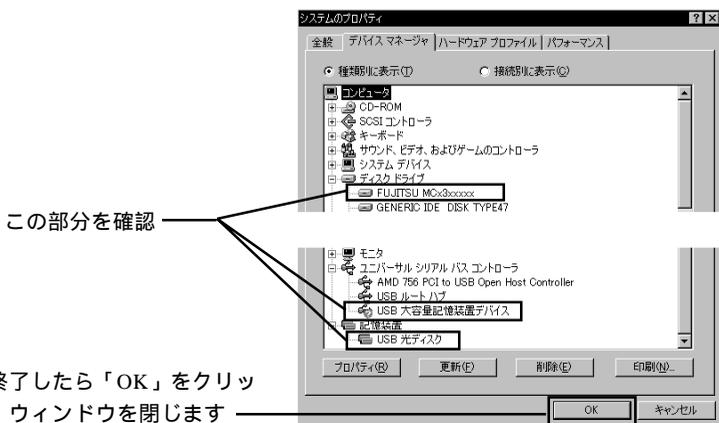
本製品がプラグ&プレイで認識され、ドライバの組み込みが全て自動的に行われます。(ここでユーザーが操作を行う必要はありません。)

作業が完成したら、最後に結果を確認します。「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。以下の様に3つのデバイスが登録されていたらインストールは正常に終了しています。

「ディスクドライブ」の下に「FUJITSU MCx3xxxxx」があることを確認します。

「ユニバーサル シリアル バスコントローラ」の下に「USB 大容量記憶装置デバイス」があることを確認します。

「記憶装置」の下に「USB 光 ディスク」があることを確認します。



これらのデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。2.3節以降では付属ソフトウェアのインストール方法や接続後の取り扱いについてご説明していますのでそちらも参照ください。



参考

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス」の表示に「？」マークが付いていますがこれは異常ではありません
- ・ディスクドライブ名の「FUJITSU MCx3xxxxx」の中のx3xxxxxには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

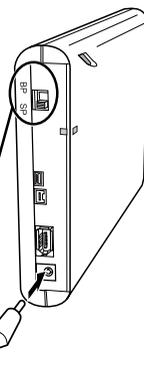
2.2 接続とインストール (Windows 98)

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動してください。

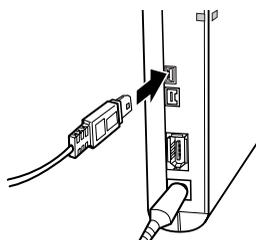
本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。

AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源切り替えスイッチを下にスライドさせて電源を ON にします。

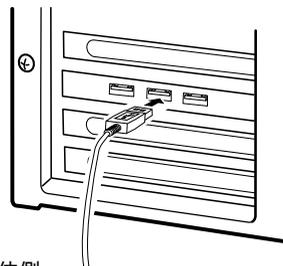
電源切り替えスイッチ
を SP 側に
AC100V のコンセントへ



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB mini- B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ



重要なお注意

- ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものが、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 2.0 に対応していないケーブルで USB 2.0 ポートに接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際にもなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。



ご注意

本製品をUSB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 拡張ポートへ接続してください。標準搭載されている USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed (12Mbps) となります。

2

本製品を接続すると、プラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、CD-ROM ドライブに本製品付属の「Logitec Ware」CD-ROM をセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして

2. ここに以下のように入力して

D:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98

3. 「次へ」をクリック



2

Point

ポイント

ここで「D:」はCD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

右のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。



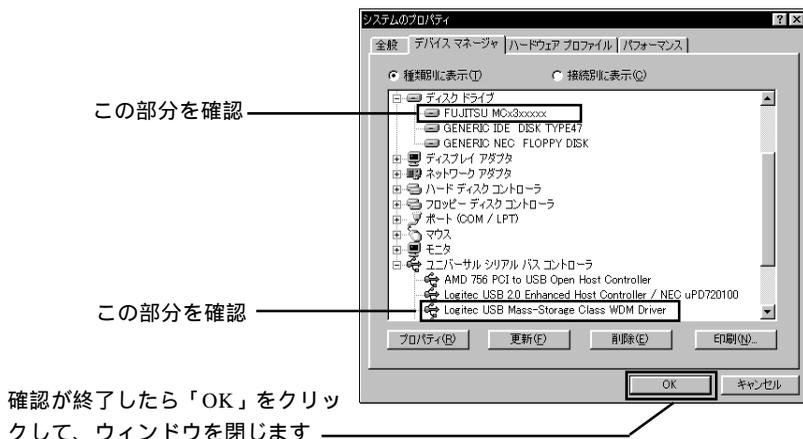
「完了」をクリック

作業が終了したら最後に接続/インストール結果を確認します。「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。以下の様に2つのデバイスが登録されていたらインストールは正常に終了しています。

「ディスクドライブ」の下に「FUJITSU MCx3xxxxx」があることを確認します。

「ユニバーサル シリアル バスコントローラ」の下に「Logitech USB Mass-Storage Class WDM Driver」があることを確認します。

2



これらのデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次節以降では付属ソフトウェアのインストール方法や接続後の取り扱いについてご説明していますのでそちらもご参照ください。



参考

ディスクドライブ名の「FUJITSU MCx3xxxxx」の中のx3xxxxxには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

2.3 ソフトウェアのインストール

本製品には、MOメディアを使用する上で必要なソフトウェアが添付されています。本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」と「イジェクトコントローラ」をそれぞれインストールしてください。

ディスクフォーマッタのインストール

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」をクリックします。



イジェクトコントローラのインストール

1. 「イジェクトコントローラ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」をクリックします。



参考

「Logitec Ware」CD-ROM内にはこの他にもデータをフォルダ単位でバックアップ可能な「フォルダミラーリングツール」や、MOメディアの複製を作成する「MOデュプリケータ」等、便利なソフトウェアが収録されています。必要に応じてご活用ください。

2.4 フォーマットについて

フォーマットとは、メディアを初期化し、データの読み書きができるようにメディア内部の形を整える作業のことです。この形を、**フォーマット形式**と呼びます。フォーマット形式は、例えばWindowsとMacintoshなど、OSにより使用できる種類が異なります。

MOメディアやハードディスクなどの記憶装置は、ご使用のOS環境にあった形でデータの読み書きを行う前にフォーマットする必要があります。

本製品をご使用の場合、MOメディアのフォーマットは付属のソフトウェア「Logitec ディスクフォーマッタ」を使用して行います。

既にご使用のOS環境にあった形でフォーマット済みのメディアを購入されている場合、この作業は必要ありません。

「Logitec ディスクフォーマッタ」の起動方法

インストール終了後、ディスクフォーマッタを起動する場合は、「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」 「Logitec」 「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。（デフォルトの状態ですインストールした場合）



フォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。



ご注意

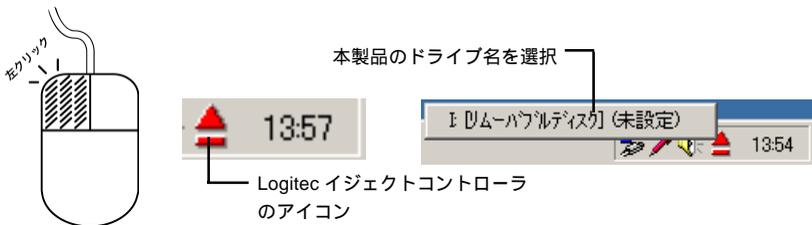
フォーマットを行うと記録されているデータはすべて消去されます。フォーマットを開始する前に、メディア内にデータがあるかどうか、また、ある場合は消去しても良いかどうかを事前にご確認ください。

2.5 メディア取り出しについて

MOメディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitech イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。

「Logitech イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。

本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows稼動中は使用しないでください。

2 . 6 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、

Windows Me では、「USB 光ディスク - ドライブ (E:) の停止」をクリックしてください。



Windows 98 では、「停止 - [DiskDrive] FUJITSU MCx3xxxxx E:」をクリックしてください。

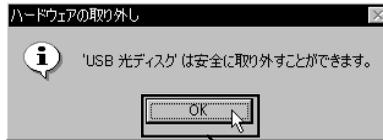


Point

ポイント

- ・ここで「E:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。
 - ・Windows 98 で表示される「停止 - [DiskDrive] FUJITSU MCx3xxxxx E:」の中のx3xxxxxには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。
-

Windows Me では「USB 光ディスクは安全に取り外すことができます。」と表示されますので「OK」をクリックしてください。



「OK」ボタンをクリック

2

Windows 98 では「デバイスは安全に取り外すことができます。」と表示されますので「OK」をクリックしてください。



「OK」ボタンをクリック

USB ケーブルを外し、本製品背面の切り替えスイッチを BP 側にスライドさせ、AC アダプタを外してください。

第3章 Windows® XP, 2000 の場合

3.1 接続とインストール

ここでは本製品を接続して、ドライバをインストールするまでの手順を説明します。以下の手順は Windows XP、2000 のシステムが起動した状態でを行います。ご使用のパソコンに USB 2.0 ポートがない場合には、接続先を USB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。接続手順、ドライバのインストール手順は同じです。

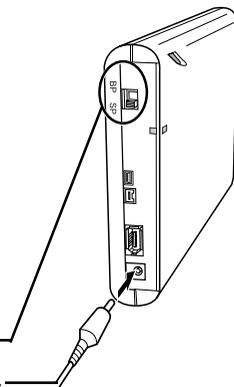
Point

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動し、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ）としてログオンしてください。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源切り替えスイッチを下にスライドさせて電源を ON にします。

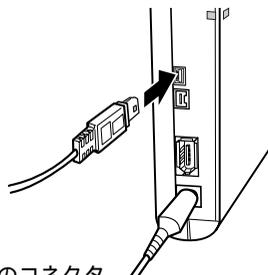
電源切り替えスイッチ
を SP 側に

AC100V のコンセントへ

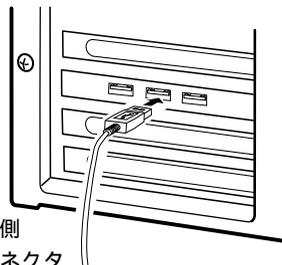


本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB mini-B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。

本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ





重要なご注意

- ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
 - ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際にもなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
 - ・本製品を USB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 拡張ポートへ接続してください。標準搭載されている USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed (12Mbps) となります。
-

本製品がプラグ & プレイで認識され、ドライバの組み込みが全て自動的に行われます。(ここでユーザーが操作を行う必要はありません。)

以上で本製品の接続とインストールは終了です。次に接続結果の確認をしますので次節へお進みください。

3.2 接続 / インストール結果の確認

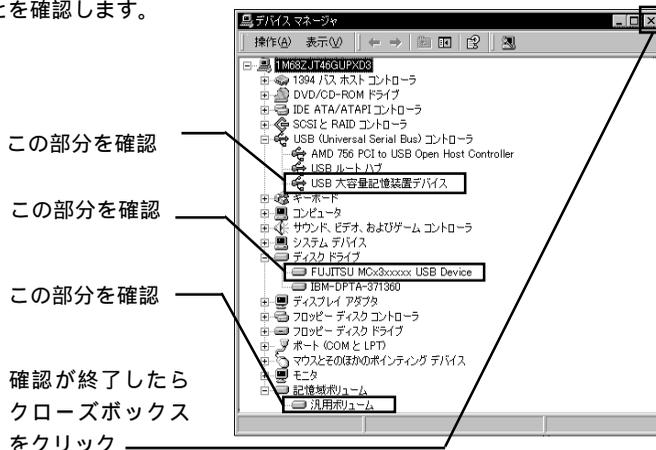
Windows XP, 2000 で接続 / インストール結果を確認するには、「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」ボタンをクリックします。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら、「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

デバイスマネージャに以下のデバイスが登録されていることを確認します。

「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックして開き、「USB 大容量記憶装置デバイス」が表示されることを確認します。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き「FUJITSU MCx3xxxxx USB Device」が表示されることを確認します。

「記憶域ボリューム」をダブルクリックして開き「汎用ボリューム」が表示されることを確認します。



これらのデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次節以降では付属ソフトウェアのインストール方法や接続後の取り扱いについてご説明していますのでそちらもご参照ください。



参考

- ・上の画面は Windows 2000 のものですが、表示される項目は Windows XP でも全く同じです。
- ・ディスクドライブ名の「FUJITSU MCx3xxxxx」の中の x3xxxxx には、本製品内蔵の MO ドライブの型番が入ります。

3.3 ソフトウェアのインストール

本製品には、MOメディアを使用する上で必要なソフトウェアが添付されています。本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」と「イジェクトコントローラ」をそれぞれインストールしてください。

ディスクフォーマッタのインストール

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。
2. 「セットアップの起動」をクリックします。



イジェクトコントローラのインストール

1. 「イジェクトコントローラ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。
2. 「セットアップの起動」をクリックします。



参考

「Logitec Ware」CD-ROM内にはこの他にもデータをフォルダ単位でバックアップ可能な「フォルダミラーリングツール」や、MOメディアの複製を作成する「MOデュプリケータ」等、便利なソフトウェアが収録されています。必要に応じてご利用ください。

3.4 フォーマットについて

フォーマットとは、メディアを初期化し、データの読み書きができるようにメディア内部の形を整える作業のことです。この形を、**フォーマット形式**と呼びます。フォーマット形式は、例えば Windows と Macintosh など、OS により使用できる種類が異なります。

MOメディアやハードディスクなどの記憶装置は、ご使用のOS環境にあった形でデータの読み書きを行う前にフォーマットする必要があります。

本製品をご使用の場合、MOメディアのフォーマットは付属のソフトウェア「Logitec ディスクフォーマッタ」を使用して行います。

既にご使用のOS環境にあった形でフォーマット済みのメディアを購入されている場合、この作業は必要ありません。

「Logitec ディスクフォーマッタ」の起動方法

インストール終了後、ディスクフォーマッタを起動する場合は、「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての)プログラム」 「Logitec」 「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態ですインストールした場合)



フォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。



ご注意

フォーマットを行うと記録されているデータはすべて消去されます。フォーマットを開始する前に、メディア内にデータがあるかどうか、また、ある場合は消去しても良いかどうかを事前にご確認ください。

3.5 メディアの取り出しについて

MOメディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitec イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。

「Logitec イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。

本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

- 本製品前面のイジェクトボタンはシステムが起動していないときに使用します。WindowsXP, 2000 が稼動中は使用しないでください。
- Windows XP, 2000 でMOメディアを取り出すには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administratorsグループ」)のメンバーとしてログオンする必要があります。

3 . 6 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、

Windows XP では「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します」をクリックしてください。

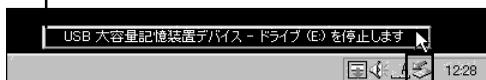
この項目をクリック



このアイコンをクリック

Windows 2000 では「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します」をクリックしてください。

この項目をクリック



このアイコンをクリック

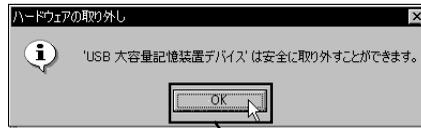
Point

ポイント

ここで「E:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。

Windows XPでは、「'USB 大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます。」というメッセージがでましたら取り外し可能となります。

Windows 2000では、「'USB 大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。



OK ボタンをクリック

USB ケーブルを外し、本製品背面の切り替えスイッチを BP 側にスライドさせて、AC アダプタを外してください。

第4章

Macintosh®の場合

4.1 接続とインストール

本節では本製品のドライバをインストールして、本製品を接続するまでの手順を説明します。

ポイント

Mac OS X 10.0.4以降をご使用の場合、本製品を使用するためのドライバが標準で添付されているので、ドライバのインストール作業は必要ありません。「4.1.2 本製品の接続」へお進みください。

4.1.1 ドライバのインストール

4

本製品を接続していない状態で、Macintoshのシステムを起動してください。

「Logitec Ware」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

CD-ROMのウィンドウが開きますので、「Drivers」と書かれたフォルダをダブルクリックして開いてください。



このフォルダを
ダブルクリック

下のようにドライバフォルダの一覧が表示されます。一覧の中から「LMO-PBFU2」と書かれているフォルダをダブルクリックしてください。

「LMO-PBFU2」フォルダ
をダブルクリック



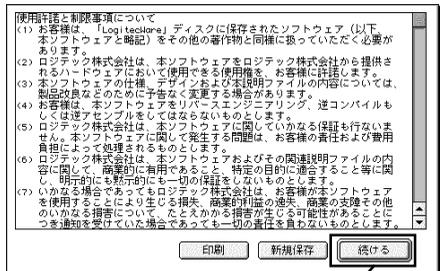
右のような画面が表示されるので、「ディスクドライバインストーラ」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。

この部分をダブルクリック



インストーラが起動して、仕様許諾等が表示されます。

内容を確認して同意
する場合は「続ける」
をクリック



4.1 接続とインストール

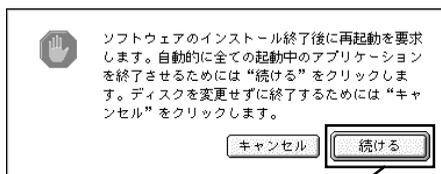
ドライバをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。



特に支障がない場合は、そのまま「インストール」をクリック

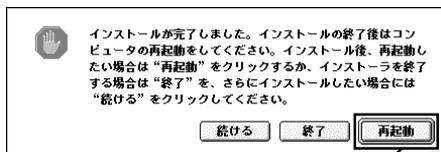
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック



必要なファイルが転送されます。終了すると右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック



システムが再起動されます。再起動が完了したら、インストール作業は終了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいください。次に本製品の接続を行います。

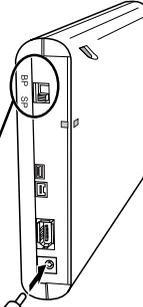
4.1.2 本製品の接続

パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動させてください。

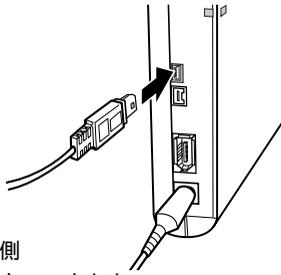
本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。

AC アダプタの接続ができたなら、本製品の電源切り替えスイッチを下にスライドさせて電源を ON にします。

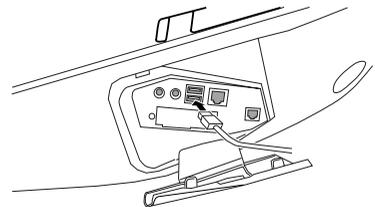
電源切り替えスイッチ
を SP 側に
AC100V のコンセントへ



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB mini- B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

以上で接続とインストールは終了です。これで本製品を使用できる状態になりました。本製品にフォーマットされた MO メディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。

(MO メディアのフォーマットについては、4.2 節をご参照ください。)



参考

Mac OS X では本製品を接続すると自動的に認識され使用できる状態になります。

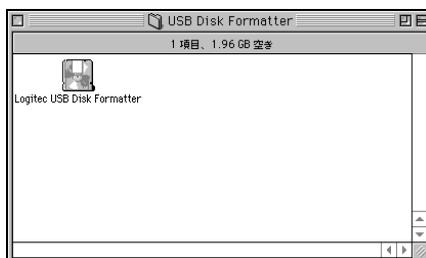
4.2 MOメディアのフォーマット手順



ご注意

Mac OS X 10.0.4 以降の OS では、ここで説明するフォーマットソフト「Logitech USB Disk Formatter」は動作しません。OS 標準の「Disk Utility」(Mac OS X 10.2.2 の場合は「ディスクユーティリティ」) をご使用ください。

本製品を接続した状態で、ドライブのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitech USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、右のウィンドウが開きます。ここで本製品にフォーマットしたいMOメディアをセットしてください。



セットされたMOメディアに関する情報が表示されます。

フォーマットされていないMOメディアをセットした場合は、「フォーマット」の欄に「不明」と表示されます。



内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。



参考

- ・「マウント」ボタンは、何かの原因でマウントされなかったMOメディアを強制的にマウントするものですが、フォーマット時には使用しません。
- ・「取り出し」ボタンは、本製品にセットされたMOメディアを取り出すためのものです。間違ったMOメディアをセットした場合などに使用してください。

右のウィンドウが表示されます。
必要に応じて設定等を行ってください。

1. MOメディアに名前をつけたい場合は、ここに入力します。

2. フォーマット形式を選択したい場合はこのプルダウンメニューを開きます。(下の「ポイント」参照)

3. 設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。



Point

ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

従来のMacintoshシリーズでサポートされていた形式です。汎用性がありますが、1.3GBなどの大容量のMOメディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

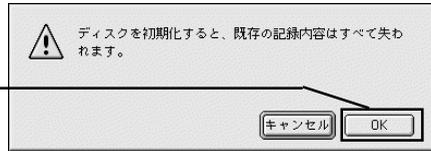
Mac OS 拡張

Mac OS 8.1からサポートされた形式です。大容量のMOメディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0以前のシステムではアクセスできなくなります。

4.2 MOメディアのフォーマット手順

確認のメッセージが表示されます。

フォーマットしてもいいことを確認したら、OKボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、下のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したものになっていることを確認してください。

確認が終了したら、「取り出し」ボタンをクリックして、MOメディアを取り出してください。



以上でMOメディアのフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマッタを終了してください。



参考

一度上記の手順でフォーマットを行ったMOメディアを再フォーマットする場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用することも可能です。

4.3 補足事項

メディアの取り出しについて

Mac OS 上でMOメディアを取り出したい場合は、デスクトップ上にマウントされたMOメディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはMac OS が起動していないときに使用します。Mac OS 稼動中は使用しないでください。

本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

本製品を取り外す場合は、USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？

電源切り替えスイッチはSP側になっていますか。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

本製品をUSBハブ経由で接続している場合は、パソコンのUSBポートに直接接続して試してみてください。

MOメディアのアクセス時にエラーが発生する。

MOメディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってください。

MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデータをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

特定のMOメディアをアクセスできない。

そのMOメディアはフォーマットされていますか？ 一般にMOメディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォーマット(論理フォーマット)を行ってください。

MOメディアではスーパーフロッピーフォーマットの形式が一般的ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社のMacintoshシリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用してください。(MacintoshシリーズでスーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用するには、MacOS標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。) そのMOメディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能なMOメディアについては、「共通編4：メディアについて」の「使用可能なMOメディア」をご参照ください。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ(サスペンド)状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合があります。

アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ(サスペンド)機能をOFFにしてご使用ください。

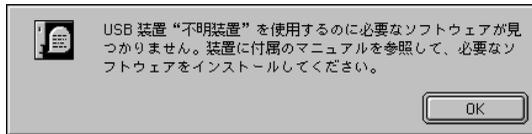
特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で MOメディアを使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみになっている場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせて、そのソフトウェアがMOメディアを動作対象としているかどうかを確認してください。一部のソフトウェアでは、動作中のディスク交換の問題などからインストール対象をハードディスクに限定している場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

MOメディアに書き込みができない。

MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

Macintosh シリーズで本製品を接続すると、 以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第4章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

Macintosh 環境で本製品のドライバをアンインストール したい。 (Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 まで)

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

Logitech USB-2A Driver

Logitech USB-2A Shim

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

Memo

IEEE1394 編

目 次

第 1 章	はじめに	57
1.1	IEEE1394 接続の概要	57
1.2	使用環境について	58
第 2 章	Windows Me , 98 Second Edition の場合	59
2.1	IEEE1394 ドライバのアップデート	59
2.2	接続について	60
2.3	ソフトウェアのインストール	63
2.4	フォーマットについて	64
2.5	メディアの取り出しについて	65
2.6	本製品を取り外す場合は	66
第 3 章	Windows XP , 2000 の場合	68
3.1	接続について	68
3.2	ソフトウェアのインストール	72
3.3	フォーマットについて	73
3.4	メディアの取り出しについて	74
3.5	本製品を取り外す場合は	75
第 4 章	Macintosh の場合	77
4.1	接続とインストール	77
4.1.1	ドライバのインストール	77
4.1.2	本製品の接続	80
4.2	MO メディアのフォーマット	81
4.3	補足説明	84
第 5 章	補足事項	85
5.1	トラブルシューティング	85
5.2	AC アダプタを使用する場合	88
5.3	IEEE1394 機器の増設について	90

第1章 はじめに

1.1 IEEE1394 接続の概要

本製品をIEEE1394インターフェースに接続する場合、以下のような特徴があります。

バスパワーに対応し、パソコンのIEEE1394ポートより直接電源の供給が受けます。ACアダプタを接続する必要がありませんのでスッキリと収納できます。

IEEE1394インターフェースは最大データ転送速度が400Mbit/s（理論値）と高速ですので、ドライブ本来の性能を最大限に引き出すことができます。

ホットプラグによる接続、取り外しが可能です。



ご注意

- ・本製品にIEEE1394ケーブル、USBケーブルの両方を同時に接続することはできません。（IEEE1394接続時にはUSBケーブルを外しておいてください。）
- ・本製品をIEEE1394バスパワーで使用するときはパソコン側・本製品側共に6ピンのIEEE1394コネクタ（ポート）に接続してください。どちらか一方のコネクタが4ピンタイプの場合、バスパワーではご使用になれません。
- ・本製品はスリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードは未サポートとなっています。
- ・IEEE1394はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

1 . 2 使用環境について

対応パソコンについて

本製品をIEEE1394接続で使用する場合、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてIEEE1394ポートを搭載している機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	eMac
	iBook
	iMac
	Power Mac G5
	Power Mac G4
	Power Mac G4 Cube
	Power Macintosh G3 (Blue and White)
	PowerBook G4、PowerBook (FireWire)

対応 OS について

本製品を IEEE1394 接続で使用する場合は、以下の OS をご使用ください。すべて日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社
Windows XP HomeEdition/Professional
Windows Me
Windows 98 Second Edition (*1)
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社
Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2 (*2)
Mac OS X 10.0.4 以降

*1 IEEE1394 アップデータ 要導入(「2.1 IEEE1394 ドライバのアップデート」参照)

*2 Mac OS 9 以降で FireWire 2.3.3 以上を導入した環境を推奨



ご注意

本製品を Windows 95 や Second Edition でない Windows 98 で使用することはできません。

第2章

Windows® Me , 98 Second Edition の場合

本章では Windows Me および Windows 98 Second Edition で本製品の接続、MO メディアのフォーマットなどを行う手順を説明します。

ご使用の OS が Windows 98 の場合、Second Edition でないと本製品を IEEE1394 インターフェースに接続することはできません。ご使用の Windows 98 が Second Edition かどうかを確認したい場合は、「コントロールパネル」 「システム」を起動してください。



上記の部分に「Windows 98 Second Edition」と記載されていれば、本製品を IEEE1394 インターフェースに接続することができます。

2 . 1 IEEE1394 ドライバのアップデート

(Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE1394 ドライバが標準添付されていますが、このドライバに対してはマイクロソフト株式会社からアップデートファイルが供給されています。このアップデートを行うことによって、IEEE1394 機器の安定性とパフォーマンスが向上します。

マイクロソフト株式会社のご厚意により、このアップデートファイルは付属の「LogitecWare」CD-ROM に収録されています。そのため、Windows 98 Second Edition をご使用の場合、以降の作業を行う前に、CD-ROM の以下のフォルダに保存された説明ファイル「README.HTML」をご熟読の上、実行ファイル「242975JPN8.EXE」を実行してください。

保存フォルダ : %DRIVERS%\MICROSOFT\1394

説明ファイル : README.HTML (README)

実行ファイル : 242975JPN8.EXE (242975JPN8)

2 . 2 接続について

ここでは、本製品をバスパワーで使用する場合の接続手順についてご説明いたします。



ご注意

以下のような場合は本製品をバスパワーで使用することはできません。付属の AC アダプタをご使用ください。

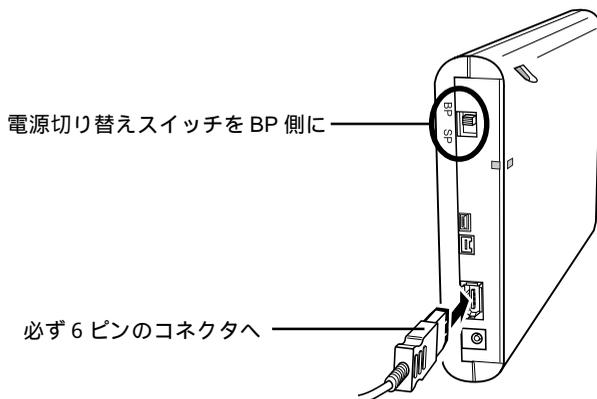
パソコン側の IEEE1394 ポートが 4 ピンタイプの場合。(バスパワーで動作するためには 6 ピン - 6 ピンで接続する必要があります。)

本製品がバスパワーで認識されない場合は付属の AC アダプタをご使用ください。AC アダプタの使用については「5 . 2 AC アダプタを使用する場合」をご参照ください。

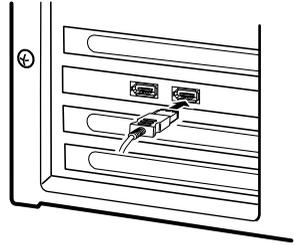
接続の手順

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動してください。

システムが起動したら、本製品背面の電源切り替えスイッチを上のスライドさせ、本製品に付属の IEEE1394 ケーブル (6 ピン - 6 ピン) を接続します。ここで使用しない 4 ピンのコネクタは IEEE1394 機器の増設を行う時に使用しますが、今は開いたままでかまいません。

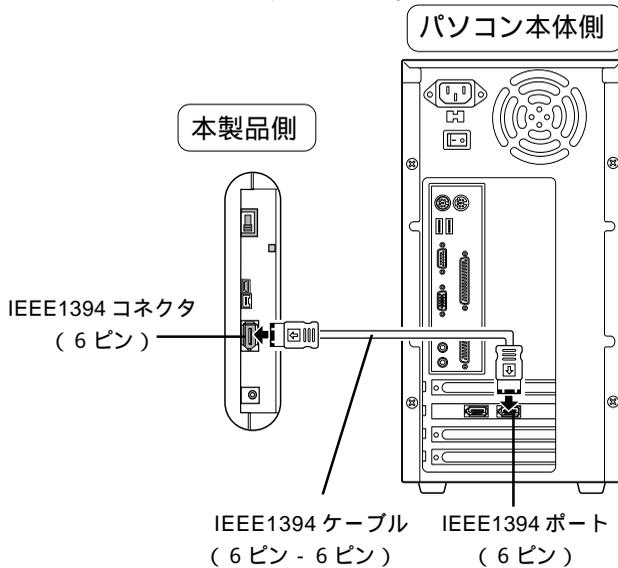


IEEE1394ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体のIEEE1394ポートに接続します。必ず6ピンのポートに接続してください。



自動的に認識され使用可能な状態になります。以上で接続は完了です。全体の接続図は以下ようになります。

2



Point

ポイント

複数のIEEE1394機器を接続したい場合は、第5章の「5.3 IEEE1394機器の増設について」をご参照ください。

接続結果の確認

接続が完了したら、接続結果を確認します。「コントロールパネル」「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。下のように接続されている機器の一覧が表示されたら、以下の3つのデバイスが表示されることを確認してください。

「SBP2」をダブルクリックして開き、「SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス」が表示されることを確認します。

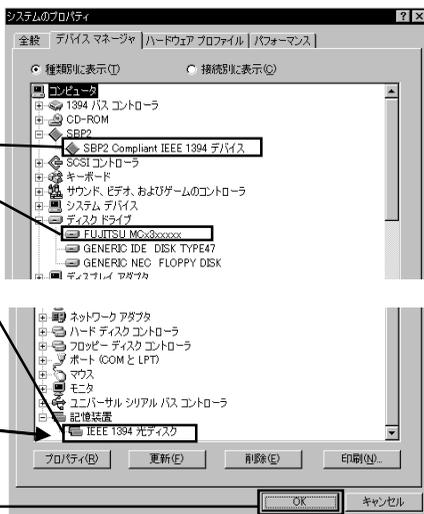
「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き、「FUJITSU MCx3xxxxx」が表示されることを確認します。

「記憶装置」をダブルクリックして開き、「IEEE1394 光ディスク」が表示されることを確認します。(Windows 98 SecondEditionの場合は「1394/USB 光ディスク」と表示されます。)

この3箇所のデバイス名を確認

Windows 98 SecondEditionの場合はこのデバイスが「1394/USB光ディスク」と表示されます

確認が終了したら「OK」ボタンをクリック



これらのデバイスが表示されたら、本製品は正常に認識されています。次節以降では付属ソフトウェアのインストール方法や接続後の取り扱いについてご説明していますのでそちらもご参照ください。

2.3 ソフトウェアのインストール

本製品には、MOメディアを使用する上で必要なソフトウェアが添付されています。本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」と「イジェクトコントローラ」をそれぞれインストールしてください。

ディスクフォーマッタのインストール

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」をクリックします。



イジェクトコントローラのインストール

1. 「イジェクトコントローラ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」をクリックします。



参考

「Logitec Ware」CD-ROM内にはこの他にもデータをフォルダ単位でバックアップ可能な「フォルダミラーリングツール」や、MOメディアの複製を作成する「MOデュプリケータ」等、便利なソフトウェアが収録されています。必要に応じてご利用ください。

2.4 フォーマットについて

フォーマットとは、メディアを初期化し、データの読み書きができるようにメディア内部の形を整える作業のことです。この形を、**フォーマット形式**と呼びます。フォーマット形式は、例えばWindowsとMacintoshなど、OSにより使用できる種類が異なります。

MOメディアやハードディスクなどの記憶装置は、ご使用のOS環境にあった形でデータの読み書きを行う前にフォーマットする必要があります。

本製品をご使用の場合、MOメディアのフォーマットは付属のソフトウェア「Logitec ディスクフォーマッタ」を使用して行います。

既にご使用のOS環境にあった形でフォーマット済みのメディアを購入されている場合、この作業は必要ありません。

「Logitec ディスクフォーマッタ」の起動方法

インストール終了後、ディスクフォーマッタを起動する場合は、「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」 「Logitec」 「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。（デフォルトの状態ですインストールした場合）



フォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。



ご注意

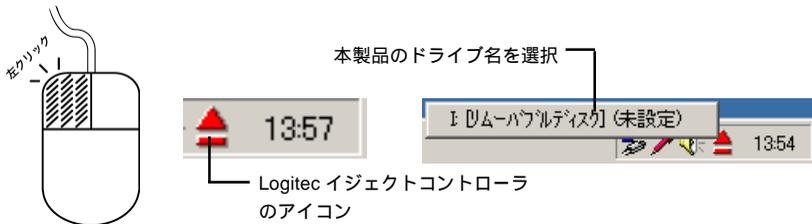
フォーマットを行うと記録されているデータはすべて消去されます。フォーマットを開始する前に、メディア内にデータがあるかどうか、また、ある場合は消去しても良いかどうかを事前にご確認ください。

2.5 メディアの取り出しについて

MOメディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitec イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。

「Logitec イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。

本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows稼動中は使用しないでください。

2 . 6 本製品を取り外す場合は

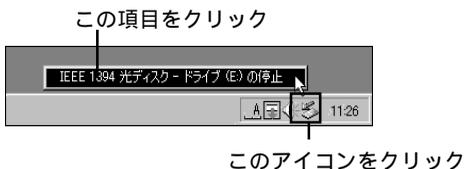
本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

2

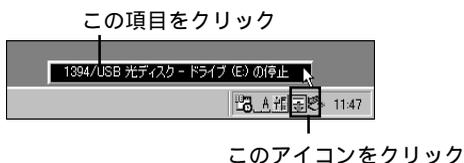
本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「IEEE 1394 光ディスク - ドライブ(E:)の停止」、または「1394/USB 光ディスク - ドライブ(E:)の停止」を選択してください。

Windows Me の場合



Windows 98 Second Edition の場合



Point

ポイント

ここで「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

「IEEE 1394 光ディスク は安全に取り外すことができます。」 または
「1394/USB 光ディスク E: デバイスをコンピュータから取り外しても安全です」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の場合



OK ボタンをクリック

Windows 98 Second Edition の場合



OK ボタンをクリック

IEEE1394 ケーブルを外すと、本製品の電源は OFF になります。



ご注意

本製品以外に IEEE1394 機器を併用している場合は、他の IEEE1394 機器のアクセス中に本製品の取り外しを行わないでください。

第 3 章 Windows[®] XP , 2000 の場合

3 . 1 接続について

ここでは、本製品をバスパワーで使用する場合の接続手順についてご説明いたします。



ご注意

以下のような場合は本製品をバスパワーで使用することはできません。付属の AC アダプタをご使用ください。

パソコン側の IEEE1394 ポートが 4 ピンタイプの場合。(バスパワーで動作するためには 6 ピン - 6 ピンで接続する必要があります。)

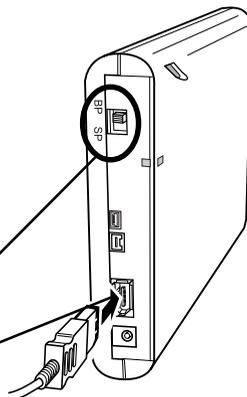
本製品がバスパワーで認識されない場合は付属の AC アダプタをご使用ください。AC アダプタの使用については「5 . 2 AC アダプタを使用する場合」をご参照ください。

接続の手順

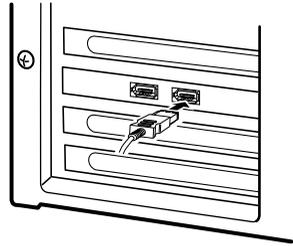
パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動し、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ）としてログオンしてください。

システムが起動したら、本製品背面の電源切り替えスイッチを上スライドさせ、本製品に付属の IEEE1394 ケーブル（6 ピン - 6 ピン）を接続します。ここで使用しない 4 ピンのコネクタは IEEE1394 機器の増設を行う時に使用しますが、今は開いたままでかまいません。

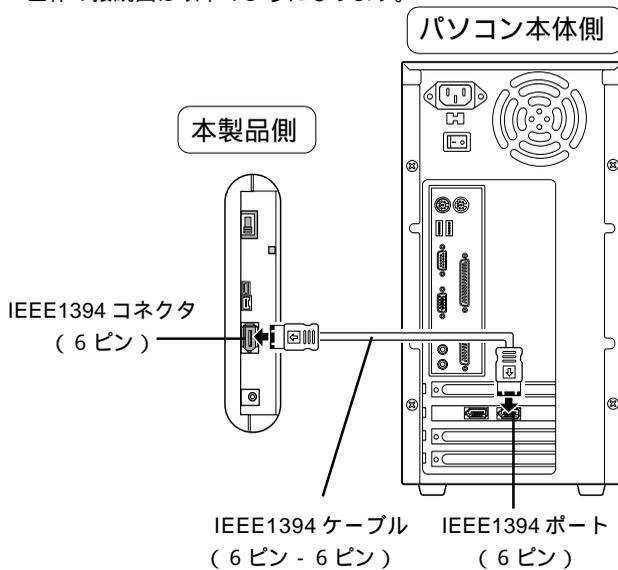
電源切り替えスイッチ
を BP 側に
必ず 6 ピンのコネクタへ



IEEE1394ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体のIEEE1394ポートに接続します。必ず6ピンのポートに接続してください。



自動的に認識され使用可能な状態になります。以上で接続は完了です。全体の接続図は以下ようになります。

**Point**

ポイント

複数のIEEE1394機器を接続したい場合は、第5章の「5.3 IEEE1394機器の増設について」をご参照ください。

接続結果の確認

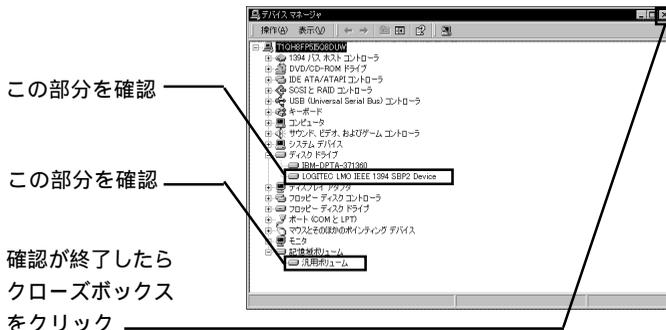
接続が終了したら以下の手順で結果の確認を行います。

Windows 2000 の場合

「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。下のよう
に接続されている機器の一覧が表示されたら、以下のデバイスが表示されることを
確認してください。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き、「LOGITEC LMO IEEE
1394 SBP2 Device」が表示されることを確認します。

「記憶域ボリューム」をダブルクリックして開き、「汎用ボリューム」が
表示されることを確認します。



これらのデバイスが表示されたら、本製品は正常に認識されています。次節以降では付属ソフトウェアのインストール方法や接続後の取り扱いについてご説明して
いますのでそちらもご参照ください。

Windows XP の場合

「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」をクリックし、「関連項目」から「システム」を選び、システムウィンドウから「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。下のように接続されている機器の一覧が表示されたら、以下のデバイスが表示されることを確認してください。

「SBP2 IEEE 1394 デバイス」をダブルクリックして開き「SBP2 準拠 IEEE 1394 デバイス」が表示されることを確認します。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device」が表示されることを確認します。

「記憶域ボリューム」をダブルクリックして開き、「汎用ボリューム」が表示されることを確認します。



これらのデバイスが表示されたら、本製品は正常に認識されています。次節以降では付属ソフトウェアのインストール方法や接続後の取り扱いについてご説明していますのでそちらもご参照ください。

3.2 ソフトウェアのインストール

本製品には、MOメディアを使用する上で必要なソフトウェアが添付されています。本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」と「イジェクトコントローラ」をそれぞれインストールしてください。

ディスクフォーマッタのインストール

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」をクリックします。



イジェクトコントローラのインストール

1. 「イジェクトコントローラ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」をクリックします。



参考

「Logitec Ware」CD-ROM内にはこの他にもデータをフォルダ単位でバックアップ可能な「フォルダミラーリングツール」や、MOメディアの複製を作成する「MOデュプリケータ」等、便利なソフトウェアが収録されています。必要に応じてご活用ください。

3.3 フォーマットについて

フォーマットとは、メディアを初期化し、データの読み書きができるようにメディア内部の形を整える作業のことです。この形を、**フォーマット形式**と呼びます。フォーマット形式は、例えば Windows と Macintosh など、OS により使用できる種類が異なります。

MOメディアやハードディスクなどの記憶装置は、ご使用のOS環境にあった形でデータの読み書きを行う前にフォーマットする必要があります。

本製品をご使用の場合、MOメディアのフォーマットは付属のソフトウェア「Logitec ディスクフォーマッタ」を使用して行います。

既にご使用のOS環境にあった形でフォーマット済みのメディアを購入されている場合、この作業は必要ありません。

「Logitec ディスクフォーマッタ」の起動方法

インストール終了後、ディスクフォーマッタを起動する場合は、「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての)プログラム」 「Logitec」 「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態ですべてインストールした場合)



フォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。



ご注意

フォーマットを行うと記録されているデータはすべて消去されます。フォーマットを開始する前に、メディア内にデータがあるかどうか、また、ある場合は消去しても良いかどうかを事前にご確認ください。

3.4 メディアの取り出しについて

MOメディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitec イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。

「Logitec イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。

本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

- ・本製品前面のイジェクトボタンはシステムが起動していないときに使用します。WindowsXP, 2000 が稼働中は使用しないでください。
 - ・Windows XP, 2000 でMOメディアを取り出すには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administratorsグループ」)のメンバーとしてログオンする必要があります。
-

3.5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (E:)を安全に取り外します」または、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (E:)を停止します」を選択してください。

Windows XP の場合



Windows 2000 の場合



Point

ポイント

ここで「E:」はドライブ名ですので、環境によって異なります。

3.5 本製品を取り外す場合は

Windows XP では、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device」は安全に取り外すことができます。」というメッセージがでましたら取り外し可能となります。

Windows 2000 では、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device」は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。



OK ボタンをクリック

IEEE1394 ケーブルを外すと、本製品の電源は OFF になります。



ご注意

本製品以外に IEEE1394 機器を併用している場合は、他の IEEE1394 機器のアクセス中に本製品の取り外しを行わないでください。

第4章 Macintosh®の場合

4.1 接続とインストール

本節では本製品のドライバをインストールして、本製品を接続するまでの手順を説明します。

Point

ポイント

Mac OS X 10.0.4以降をご使用の場合、本製品を使用するためのドライバが標準で添付されているので、ドライバのインストール作業は必要ありません。「4.1.2 本製品の接続」へお進みください。

4.1.1 ドライバのインストール

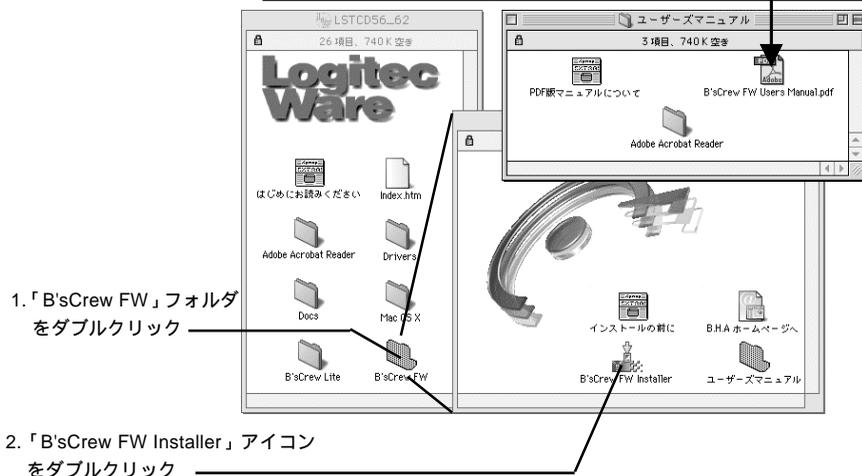
本製品を接続していない状態で、Macintoshのシステムを起動してください。

「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

CD-ROMのウィンドウが開きますので、「B'sCrew FW」フォルダをダブルクリックして開き、展開される一覧の中から「B'sCrew FW Installer」と表示されたアイコンをダブルクリックしてください。

参考

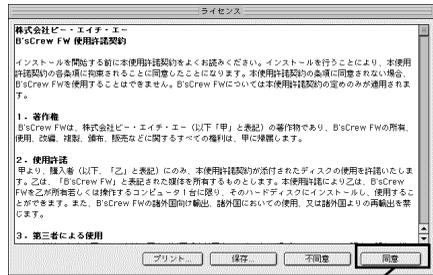
ユーザズマニュアルを参照するには「B'sCrew FW」フォルダ内のユーザズマニュアルフォルダをダブルクリックして、フォルダ内のこのPDFファイルをダブルクリックします。



4.1 接続とインストール

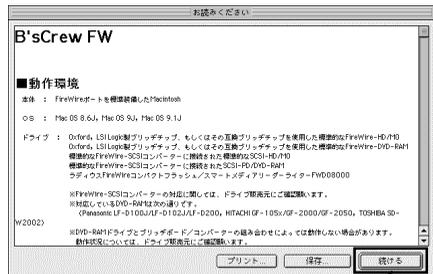
4.1.1 ドライバのインストール

インストーラが起動して、使用許諾等が表示されます。



内容を確認して、同意する場合は「同意」をクリック

注意事項等が表示されます。



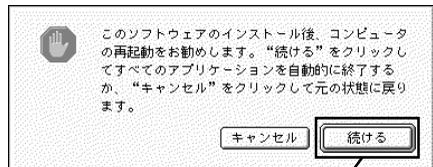
内容を確認して「続ける」をクリック

右のウィンドウが表示されます。



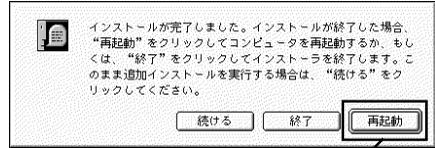
「インストール」をクリック

インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。



他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック

必要なファイルが転送されます。
終了すると右のウィンドウが表示
されます。



「再起動」をクリック

システムが再起動されます。以上でドライバのインストールは終了です。再起動が完了したら、CD-ROMを取り出しておいください。再起動後本製品の接続を行います。

4.1.2 本製品の接続

ここでは、本製品をバスパワーで使用する場合の接続手順についてご説明いたします。本製品には6ピン - 4ピンタイプのIEEE1394ケーブルが付属していますが、Macintosh環境では、このケーブルは増設を行う場合の他は通常使用しません。バスパワーでの接続を行う場合は必ず6ピン - 6ピンのケーブルをご使用ください。

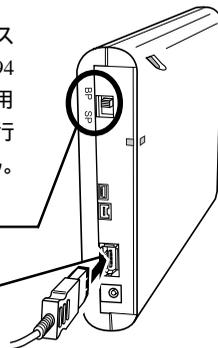
接続の手順

パソコン本体の電源をONにして、Macintoshのシステムを起動してください。

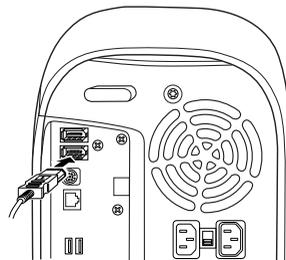
システムが起動したら、本製品背面の電源切り替えスイッチを上スライドさせ、本製品に付属のIEEE1394ケーブル(6ピン - 6ピン)を接続します。ここで使用しない4ピンのコネクタはIEEE1394機器の増設を行う時に使用しますが、今は開いたままかまいません。

電源切り替えスイッチを
BP側に

必ず6ピンのコネクタへ



最後にIEEE1394ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体のIEEE1394ポートに接続します。



以上で接続とインストールは終了です。これで本製品を使用できる状態になりました。本製品にフォーマットされたMOメディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。

(MOメディアのフォーマットについては、次節をご参照ください。)

**ご注意**

本製品がバスパワーで認識されない場合は、付属のACアダプタをご使用ください。ACアダプタの使用については「5.2 ACアダプタを使用する場合」をご参照ください。

**参考**

Mac OS X では本製品を使用するためのドライバが添付されているので、本製品を接続すると自動的に標準ドライバがインストールされ使用できる状態になります。

4.2 MOメディアのフォーマット

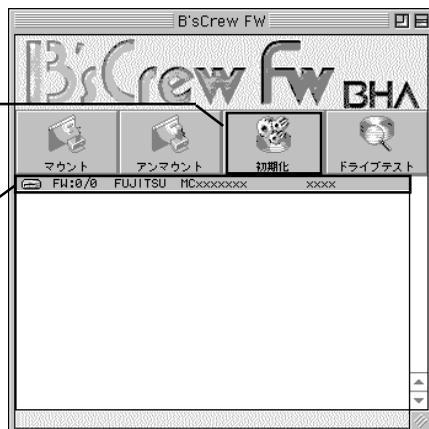
**ご注意**

Mac OS X 10.0.4 以降のOSでは、ここで説明するフォーマットソフトB'sCrew FWは動作しません。OS標準の「Disk Utility」(Mac OS X 10.2.2の場合は「ディスクユーティリティ」)をご使用ください。

本製品を接続した状態で、ドライバのインストール時に作成された「B'sCrew FW」フォルダを開き、「B'sCrew FW」のアイコンをダブルクリックすると以下のウィンドウが表示されますので、ドライブを選択して「初期化」をクリックしてください。

2. 「初期化」をクリック

1. ドライブを選択して、



「初期化設定」ウィンドウが表示されます。「パーティションタイプ」のプルダウンメニューを開きフォーマット形式を指定してください。(下のポイント参照)

このプルダウンメニューを開き、フォーマット形式を選択します。



Point

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

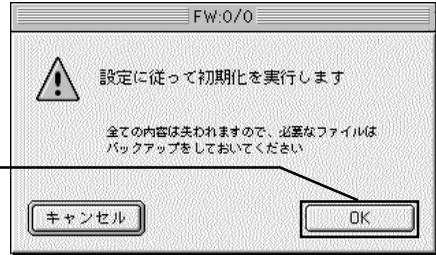
従来のMacintoshシリーズでサポートされていた形式です。汎用性がありますが、1.3GBなどの大容量のMOメディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

Mac OS 8.1からサポートされた形式です。大容量のMOメディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0以前のシステムではアクセスできなくなります。

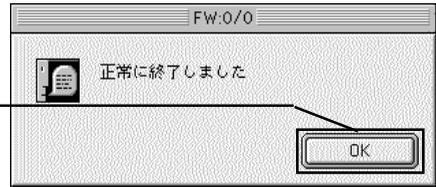
確認のメッセージが表示されます。

フォーマットをしてもいいことを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行され、終了後右のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック



以上でMOメディアのフォーマットは終了です。終了すると新しいMOメディアがデスクトップ上にマウントされます。

4 . 3 補足説明

メディアの取り出しについて

Mac OS 上でMOメディアを取り出したい場合は、デスクトップ上にマウントされたMOメディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはMac OS が起動していないときに使用します。Mac OS 稼動中は使用しないでください。

本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。



ご注意

複数のIEEE1394機器を併用している場合、他のIEEE1394機器をアクセスしている間は本製品の取り外しを行わないでください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

パソコンの仕様によってはバスパワーで十分な電力を供給できない場合がございます。バスパワーでの電源供給が上手く行かない場合は、併用している IEEE1394 機器を取り外すか、「5.2 ACアダプタを使用する場合」をご参照の上、ACアダプタを接続して本製品をご使用ください。

電源切り替えスイッチの状態を確認してください。バスパワーで使用している場合は切り替えスイッチがBP側に、ACアダプタを使用している場合は切り替えスイッチがSP側になるようにします。

ケーブルの接続に接触不良などはありませんか。

IEEE1394 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？

本製品を IEEE1394 ハブ経由で接続している場合は、パソコン (IEEE1394 インターフェイスボード) の IEEE1394 ポートに直接接続して試してみてください。

多くの IEEE1394 機器を接続している場合、ケーブル長の制限、台数の制限を超えていないかどうかを確認してください。また、接続にループが発生していないかどうかを確認してください。これらの制限等については「5.3 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

Windows XP, 2000 で「ディスクの管理」が起動できない。

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つグループ (例えば「Administrators」グループ) のメンバーとしてログオンしている必要があります。

MO メディアのアクセス時にエラーが発生する。

MO メディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってください。

MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデータをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

MOメディアに書き込みができない。

MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

特定のMOメディアをアクセスできない。

そのMOメディアはフォーマットされていますか？ 一般にMOメディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォーマット（論理フォーマット）を行ってください。

MOメディアではスーパーフロッピーフォーマットの形式が一般的ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社のMacintoshシリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用してください。（MacintoshシリーズでスーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用するには、MacOS標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）そのMOメディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能なMOメディアについては、「1.1 製品の特徴」の「機種と使用可能なMOメディア」をご参照ください。

Macintoshシリーズで本製品が認識されない。

iBook (Dual USB)シリーズ (M8520J/A, M7699J/A, M7692J/A, M7698J/A)で6ピン - 4ピンのIEEE1394ケーブルを使用していませんか？ これらの機種では6ピン - 6ピンのIEEE1394ケーブルをご使用ください。

Macintosh環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

B'sCrew FW Driver

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

本製品の Macintosh 用ドライバに 関するお問い合わせについて

本製品付属の Macintosh 用ドライバ「B'sCrew FW Driver」に関するお問い合わせは、開発元である株式会社ビー・エイチ・エーで承っています。

お問い合わせ先は以下の通りです。お問い合わせの際には必ず B'sCrew FW Driver のシリアルナンバーをご用意ください。

「株式会社ビー・エイチ・エー サポートセンター」
TEL：06-4861-8235 FAX：06-6378-3336
(月～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
祝祭日および夏期 / 年末年始特定休業日を除く)

5 . 2 AC アダプタを使用する場合

ACアダプタを使用する場合は、必ずIEEE1394ケーブルを接続する前に本製品にACアダプタを接続し、電源切り替えスイッチをSP側にスライドさせて、電源表示ランプが青色に点灯するのを確認してください。

はじめに本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続します。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続してください。接続ができたなら本製品背面の電源切り替えスイッチをSP側にスライドさせ、電源表示ランプが青色に点灯するのを確認します。

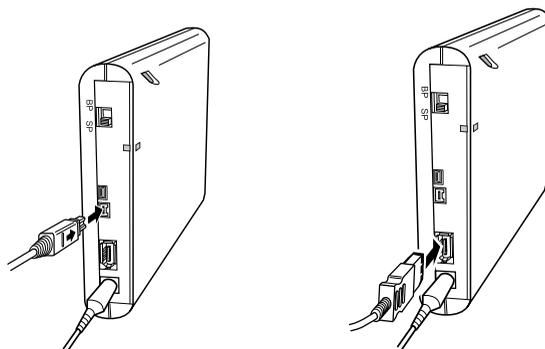
電源切り替えスイッチを
SP側に

AC100Vのコンセントへ



付属のIEEE1394ケーブルを本製品に接続します。ACアダプタを使用する場合は、6ピン - 4ピン、6ピン - 6ピンいずれのケーブルを使用してもかまいません。接続先のパソコンに4ピンのコネクタしか接続できない場合は6ピン - 4ピンのIEEE1394ケーブルをご使用ください。

5

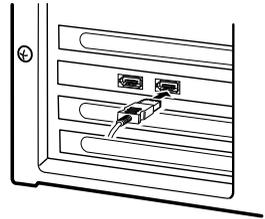


ご注意

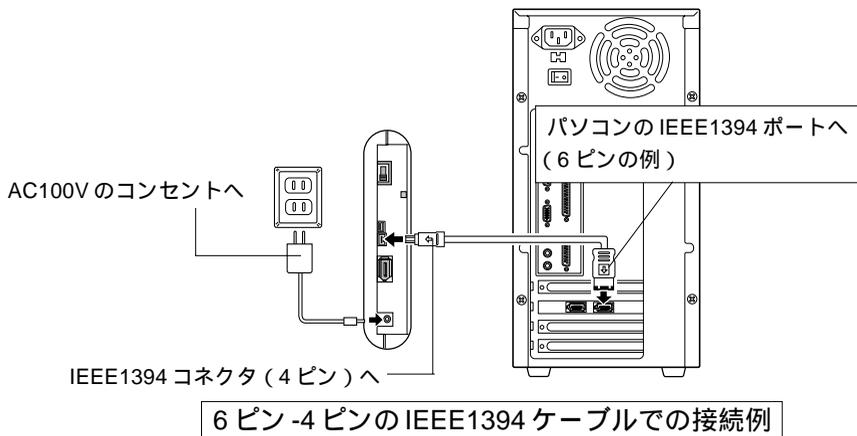
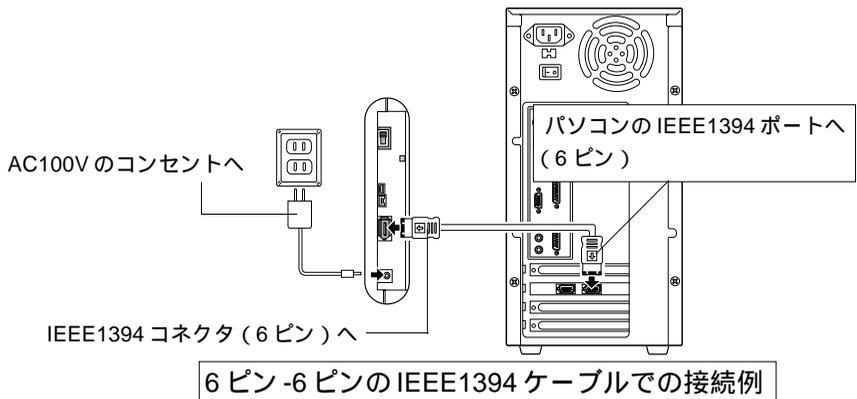
本製品をiBook(Dual USB)シリーズ(M8520J/A、M7699J/A、M7692J/A、M7698J/A)に接続する場合は、必ず6ピン-6ピンのIEEE1394ケーブルをご使用ください。6ピン-4ピンのケーブルを使用すると認識されない場合があります。

最後に IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE1394 ポートに接続します。

パソコン側のコネクタが 4 ピンタイプの場合は 6 ピン -4 ピンの IEEE1394 ケーブルをご使用ください。



以上で接続は終了です。全体の接続図は以下ようになります。



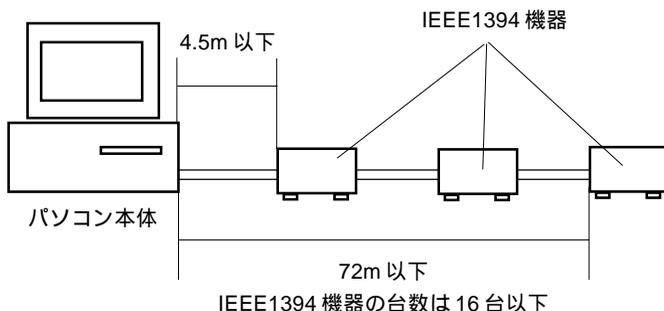
5.3 IEEE1394 機器の増設について



ご注意

本製品に増設できるのはセルフパワーで動作できるものに限りです。バスパワー(IEEE 1394ポートからの電源供給)動作の製品は増設できません。

本製品のようにIEEE1394コネクタを2個装備しているIEEE1394機器は数珠つなぎ(デージーチェーン型)に増設することができます。



このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、IEEE1394 機器の台数は 16 台以下(パソコン本体を含まない)に制限されます。

5

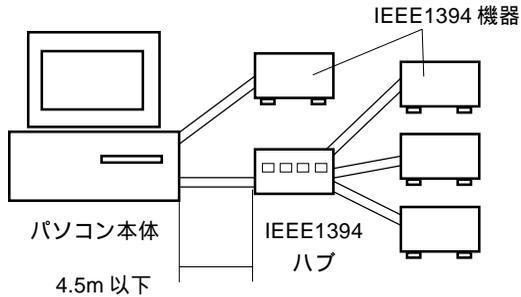


ご注意

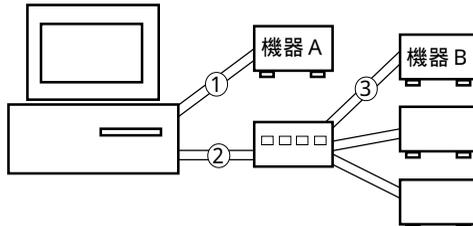
デージーチェーン型に増設する場合、ホットプラグ(電源がONになっている状態での取り外し)を行う機器は終端に接続してください。中間にある機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与える場合があります。

IEEE1394コネクタを複数装備したインターフェースカードや、IEEE1394ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。(次ページ上図参照)

この場合も1本のケーブルは最大4.5m以下です。接続台数は62台以下(パソコン本体を含まない)ですが、Windows環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界(A:~Z:でシステムが使用していないもの)に制限されます。



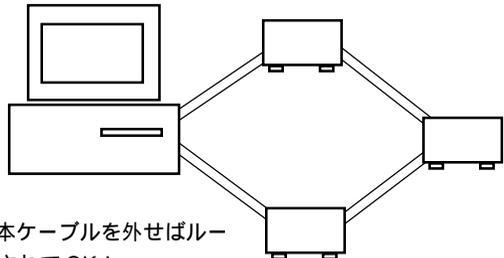
また、ツリー型の場合、IEEE1394 機器間で経由できるケーブルの本数に最大 16 本という制限があります。例えば下図の「機器 A」と「機器 B」の間には 3 本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも 16 本を越えるケーブルがあってはならないという制限です。



ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があってははいけません。



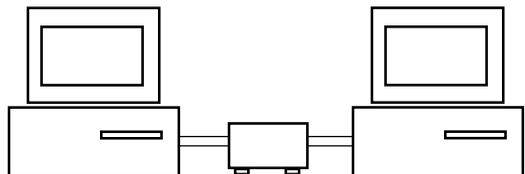
これはダメ



また、接続の中にパソコン本体が 2 台以上あってはいけません。



これはダメ



保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、有料となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

オンラインユーザー登録について

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお薦めします。

L-site <http://www.logitec.co.jp/>

登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）
製品の名称 / シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL : 0265-74-1423 FAX : 0265-74-1403

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス（ ）等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいたしますよう、お願いいたします。

Logitec MO ユニット・ユーザーズマニュアル

2006年

7月改訂

LMO-PBFU2 V05

製造元：ロジテック株式会社

